

## 人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報（カルテの情報）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用 目的及び利用方法	<p>●研究の名称 間質性肺炎急性増悪における High flow nasal cannula oxygen therapy の有用性及び治療成功予測因子の検討</p> <p>●研究の対象 2013年7月～2017年12月まで間質性肺疾患急性増悪による急性呼吸不全に対し High flow nasal cannula oxygen therapy（ハイフローネーザルカヌーラ酸素療法：HFNC）を使用した70症例</p> <p>●研究の目的 High flow nasal cannula oxygen therapy（以下 HFNC）は急性 I 型呼吸不全症例に対する有効性が報告され、忍容性、快適性にも優れることから間質性肺疾患急性増悪症例にも近年使用されることが増えています。しかしその有効性を報告した研究はなく、治療成功を予測する因子もわかっておりません。今回の研究では間質性肺疾患急性増悪に対する HFNC の有効性及び治療成功の予測因子を検討することを目的としています。</p> <p>●研究の期間 倫理委員会承認日から2020年12月まで</p> <p>●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では、研究結果について共同研究機関に情報を提供します。共同研究機関以外へは試料・情報を提供しません。</p>
利用し、又は提供する試料・情報の項目	<p>●研究に使用する試料・情報： 情報：病歴、バイタルサイン、治療歴、CT 画像、副作用等</p>

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

<p>利用する者の範囲</p>	<p>●共同研究機関の名称及び研究責任者                  聖隷三方原病院 呼吸器科 部長 横村 光司</p>
<p>試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>●研究責任者                  浜松医科大学 医学部内科学第二講座 須田隆文</p>
<p>試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）</p>	<p>あなたの情報を研究に使用することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。</p>
<p>資料の入手または閲覧</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にごその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>情報の開示</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。                  また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>〒431-3192                  浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号                  浜松医科大学医学部附属病院                  診療科：内科学第二講座呼吸器                  担当者：小谷内敬史                  TEL： 053-435-2263 FAX：053-435-2354                  E-mail：</p>